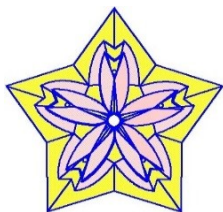


平成31年3月1日

3月号

横浜市立戸部小学校



# とべだより

未来へ つなぐ

学校長 柳澤 潤



「がまくん、がまくんだ」と叫ぶ声で、学校の東門がにぎやかになりました。先週の朝、一番に来た登校班の子どもたちが、階段の隅でじっとして動かないヒキガエルを発見したからです。春になると毎年のようにヒキガエルが現れて、学校の観察池に卵を産みます。最近は寒暖差があったので、今回登場のがまくんは、少し気が早かったのかもしれませんが。まだ肌寒い時に、外に出てきてしまいました。私は、子どもたちの登校が終わったころ、がまくんを近くの観察池に連れて行きました。生き物は皆、「春よ、来い」という気持ちなのだと思います。

3月は、卒業式まであと11日。在校生にとっても、修了式まであと16日となりました。いよいよ総仕上げの時です。学習も生活も、限られた日にちの中で、めあてを明確にして過ごすことが大切です。3月を走り切ることは、進級と進学への希望を膨らませることにつながります。自身の成長と仲間との成長を確かめ合うことで、子ども一人ひとりが自信と希望をもって、新年度を迎えられるようにしていきたいと思います。

2月16日実施の「とべとべファンタジー2018」では、多くの皆様の参観をいただき、ありがとうございました。「未来へ残そう 宝物」とのスローガンのもと、各学級で取り組んできた「生活・総合」の成果を、一人ひとりが、しっかりと発表しています。すべての学級の発表を見て回ると、各学年に応じた確かな成長を感じ取ることができます。6年生は、どちらのクラスも創立140周年を題材にしました。1組は、現在の戸部のまちに焦点をあてたフォトブックを展示。2組は、140年の学校史に焦点をあてたスライドショーを発表しました。最高学年が、周年をお祝いしようとして取り組んだ二つの作品は、どちらも見ごたえがあり、子どもたちの学校愛、まち愛があふれていました。スローガンのように、未来へ残す、未来へつなげる立派な発表でした。

年度末の学校評価アンケートでは、新たな試みとして、インターネットでの回答依頼もさせていただきました。皆様の「声」は、私たち職員の気付きや、様々な改善につながります。2月19日の学校運営協議会において、全てのご意見を、参会の委員に見ていただきました。協議の中で委員長からは、戸部の子どもたちには、「希望をもった、はつらつとした活動が見られる」との言葉をいただきました。よりよい学校づくりのために、いただいたアンケートの「声」を全職員で共有していきます。集約の結果については、3月中旬発行の「とべだより臨時号」でお知らせの予定です。

子どもたちは、進級・進学を迎え、大きく成長するときです。引き続き、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。今年度も、あらゆる場面で多くの方に支えていただきました。関係の皆様へ、深く感謝を申し上げます。